



指扇中だより

～WE LOVE SASHIOGI!～



〒331-0078 さいたま市西区西大宮 3-31-1 TEL 048(624)6234 FAX 048(624)2479

『生きるうえで大切なこと』

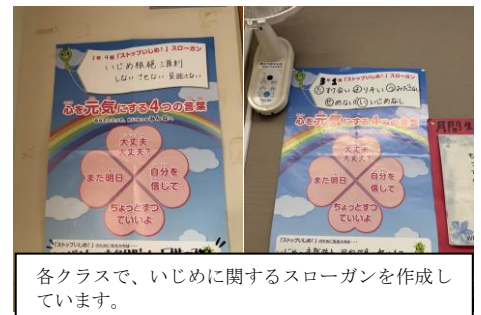
教 頭 ^{おおさわ} 大澤 ^{たかふみ} 貴史

今月の学校だよりは、^{しおみつよしひさ} 汐満禎久校長に代わり、私が担当させていただきます。教頭として日々の教育活動で大切にしている想いを、子どもたちに向けて書きたいと思います。ぜひお読みください。

7月に入り、1学期もいよいよ終わりが近づいてきました。新しい学級、新しい学び、新しい挑戦とこの3か月間で、皆さんは多くの経験を積み、それぞれのペースで成長してきたことと思います。

1学期の締めくくりに、一冊の本を紹介します。

司馬遼太郎さんの『21世紀に生きる君たちへ』という本です。司馬さんはこの中で以下のように語っています。私の心を突き刺しました。



各クラスで、いじめに関するスローガンを作成しています。

「人間は、助け合って生きているのである。私は、人という文字を見るとき、しばしば感動する。ななめの画がたがいには支え合って、構成されているのである。そのことでも分かるように、人間は、社会をつくって生きている。社会とは、支え合う仕組みということである。」

私たちは、普段の生活の中で、自分の考えや感情ばかりに気を取られがちです。しかし、周りにいる人の気持ち、特に「痛み」や「苦しみ」に目を向け、それに心を寄せることができるかどうか。それが、人としての深みやおもしろいやりにつながります。

人は自然の恵みを受け、多くの人々に支えられて生きています。だからこそ、他人の痛みに関心し、おもしろいことができる人間であることが、生きるうえで何よりも大切なのです。

1学期の締めくくりとして、以下のような問いかけを自分に見てみてください。

1 学期の振り返りポイント

- ☐ クラスや部活動で、困っている人の気持ちに気づき、行動できたか
- ☐ 自分の言動が、誰かを傷つけていなかったかを考えたことがあるか
- ☐ 日々の中で、感謝の気持ちや優しい言葉を伝えることができたか
- ☐ 周囲の人や自然とのつながりを意識して過ごせたか

こうした視点で自分を振り返ることで、人として生きるための土台がつけられていきます。2学期もまた、新たな成長の場が皆さんを待っています。まずは1学期のがんばりを認め、夏休みにしっかり心と体を休めてください。

令和7年度 7月の行事予定

さいたま市立指扇中学校

[illegible]